



「にじをわたってみたい」～短冊に願いを込めて～



小学部の七夕飾り

- 小学部と中学部の廊下や壁面には、子どもたちが願い事を書いた短冊や飾りを置いています。本来、七夕飾りは、七夕の夜のためのもので、翌日には取り外して川に流して清めるものであると聞いたことがあります。かつの校では、子どもたちの願い事が叶うように、もう少し飾ることにしています。

- 子どもたちの主な願い事は、「プリキュアの映画が見たい」、「水遊びをしたい（多数）」、「バスに乗って出かけた」、

「バスケット選手になりたい」、「ゲームのカードがほしい」、「大きくなりたい」、「床屋さんに行きたい」……。最後の「床屋さんに行きたい」は、小学部A君の願い事で、行き付けの床屋さんにとっても優しい女性の理容師さんがいて、その方に散髪してもらうことを楽しみにしているそうです。（理由を聞いて気持ちがほっこりしました）

- 以前、ある保育園にお邪魔したとき、同じように子どもたちの願い事を書いた短冊が飾ってありました。男の子は「ウルトラマンや仮面ライダーになりたい」、女の子は「ケーキ屋さんやアイドルになりたい」が多くあった中、今でも忘れられない願い事があります。

それは「にじをわたってみたい」です。なんて夢のある願い事だと思い、何度も短冊を手に取り



中学部廊下の天の川

り読み返すとともに、夢や希望をもてることは素晴らしいと思いました。今の私の願い事は、「新型コロナウイルス感染症が1日も早く終息してほしい」と「かつの校の子どもたちが明日も学校に行きたいと思える学校をつくりたい」です。

